



## 楽しみ満載！酒々井の秋！さあ～でかけてみよう！

木々の葉が彩りを増す行楽のシーズン、10月から11月にかけては、酒々井に居ながらにして楽しめそうです。

<p>10月23日(日)</p>	<p>今年で4回目の開催となる『輝く創年とコミュニティ・フォーラム』地域で活躍している個性あふれるそれぞれのまちづくり団体の事例発表が行われる。酒々井でも、様々な活動を展開している団体が多い、新しい分野へ目を向けてみたい方には必見のイベント。4つの分科会、基調鼎談、シンポジウムで一日学びの機会になりそう、是非ご興味のある方は、お越し下さい。</p>	
<p>10月30日(日) 11月3日(祝) ～ 11月6日(日)</p>	<p><b>町民文化祭</b>が公民館、プリミエールで開催されます。生涯学習や趣味、特技を生かしたエネルギーあふれる作品や発表が楽しめます。51回目となる町民文化祭が、新しい出会いや可能性が生まれるきっかけになることが期待されます。プリミエールで行われる様々な発表は、酒々井の文化レベルの高さを感じる機会になるでしょう。詳しくは右記表紙の町民文化祭のしおりでご確認下さい。</p>	
<p>11月13日(日) 対象者のみ</p>	<p><b>平成28年度盛年式</b>、60歳を迎える方達の第二幕を応援する企画。まちづくりの団体の活動を知る機会にもなっていることは興味深い。</p>	
<p>11月19日(土) 11月20日(日)</p>	<p>今年は、<b>ふるさとまつり</b>(19日/20日)と<b>新酒祭</b>(20日)が同日の開催というからすごい！各種まちづくりの団体も協力しての模擬店やバザー、また舞台ではイベントもあり、にぎやかなまつりを楽しめる。そして、まつりを盛り上げる企画は、山形の9つの酒蔵が出店する予定。</p>	
<p>11月20日(日) 詳しくは チラシをご覧ください。 (変更の場合もあります)</p>	<p>11年目となる、すいすい倶楽部主催の<b>新酒祭</b>は大きな飛躍が期待される。今年は2ヶ所で開催。酒の文字が2つ入った酒々井らしい新企画登場、JR酒々井西口では、千葉の12銘柄の日本酒の飲み比べ(有料)と購入ができる。両日のまつりを通じて、20日は酒々井で【21銘柄の日本酒が楽しめる】両会場での酒のまち酒々井を堪能できる。酔い過ぎないように気をつけて楽しみたい。</p>	

### キラリッこの人!

### 『子供の笑顔がたまらない!』

酒々井おもちゃ病院 Dr. 萩原和夫さん



青樹堂の同期生を中心に会を6人で立ち上げて早や1年。既に200件の治療を終えて、子供たちに大変喜ばれています。活動のきっかけは「子供達のために何かをしたい」「シニアと子供たちの接点になること」「酒々井町にないもの」「子供達に物の大切さを考えさせること」を目標に活動のスキルアップを図って頑張っています。これもこの活動を自分が好きだから長続き出来ると思っています。毎月2回病院をオープンしていますが、その場で直せるものもありますが、

たまには入院もあります。預かって治療が難しく何日間も直らないで、悩んだ後の完治した時の達成感、充実感はずいぶんありますし、子供の喜んでくれる笑顔はその報酬です。将来の夢は子供からシニアまでの病院となり、まち中の交流が計れば良いなと思っています。



## ヴィタリ 魅惑のバリトンリサイタル

国際的に活躍するトップレベルの音楽家をここ酒々井町に招いて、都心まで出かけなくても、身近に世界一流の音楽を楽しみ、町民相互の交流を深める機会を提供しようと、NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会が始めた町民交流事業は、今回、第4回目を迎えることとなりました。

今回は胸に響く衝撃のバリトンの歌声でロシア歌曲界の新星として評価を高め、日本でも日本トスティ歌曲コンクール 2015 第1位及び特別賞、第52回日伊声楽コンクール第1位及び最優秀歌曲賞受賞等で高い評価を得ているロシア人バリトン歌手ヴィタリ・ユシュマノフさんを迎えて魅惑のバリトンリサイタルを開催することとなりました。

酒々井町に春の躍動を伝える声楽の響きにご期待下さい。

開催日時:2017年3月26日(日) 14時開演  
開催場所:プリミエール酒々井文化ホール  
チケット:前売り券 2000円(当日券 2500円)



ヴィタリ・ユシュマノフ



## 町民交流事業・映画会「ホームカミング」を終えて

9月11日は朝から雨で、来場者人数が減るのではないかと気になったが、200名弱(正確には183名)の方が来られました。今回の映画は、高度成長期前後に開発された新興住宅地域の数十年後が舞台。地域全体が高齢化したかつての新興住宅地、日本全国至る所に共通した設定で物語が展開。映画主演初めてのTVでお馴染みの高田純次演じる鶴田が60才定年を迎え、サラリーマン生活に別れを告げたところから始まる。会社あつての家庭と、万事仕事優先、地域とのつながりはほとんど持たずに過ごしてきたが、改めて我が町を見れば、商店街はシャッター化、子供の姿は見えず、気になるのは救急車のサイレンの音、自治会では退会希望者が増え、かつては子供たちのためにとってきた自治会主催の祭りも、負担が大きいから止めてはという意見もでたりして、難問が山積み。そんな街の駐在所に、若い婦人警官が交通相談員の父親と赴任してきたことから、町の活性化が始まる。物語としては、いくつかのエピソードを通して芸達者な俳優陣が随所で笑いをとり、観客の心をくすぐりながら展開し、ハッピーエンドで終わる。

映画を見ながらそれぞれの人生や、我が町酒々井に照らし合わせ、笑って楽しくご覧いただけたように思う。映画の終わりに拍手が起きた。映画を見て多少なりとも元気が出て、少しでも住みやすい街にしたいという思いや、具体的な行動に結びつきかけになることを、主催した立場からは願ったことでした。



## 鯖江市OCサミットに参加して

平成28年9月3日福井県鯖江市に於いて「全国OCサミット in 鯖江」が開催されました。このサミットは私たちのNPO法人「輝け酒々井まちづくり研究会」が目的の一つとしている「団体が横につながり、連携し、面としてまちづくり行」ことを学ぶサミットでした。因みにOCとは、「おばちゃん」のことで、高齢者の女性我先頭に立って、老若男女と連携しながら活躍できる仕組み作りを学習するサミットでした。



## 泉の里(飯積)

泉の里は、飯積字泉(いずみ)にあり尾上から八街へ向かう旧街道の道沿いで、伊豆神社やお寺(跡)が残る静かな森の中に有ります。現在でも、ここが酒々井町かと思われるほど静かで神秘的な所です。近くに商業施設のアウトレットができましたが、この一角だけは別世界で神聖な神の領域を感じます。また、酒々井町で最古の樹木として町の天然記念物に指定されている樹齢700年と言われる「飯積の大杉」がこの伊豆神社の境内に有ります。伊豆神社には、子安神社も合祀されていて古くから地元の人達は子安神社としても信仰を深めてきました。

現在、地元の氏子の皆さんが、毎月第一日曜日を定例活動日として、ご婦人達が朝早くから神社の清掃を行い、男性達が「泉の里」の整備を行っています。5年前までは、人の入れないような荒れた社(森)でしたがメンバーの皆さんの大変な苦勞もあって、現在の様な憩いの場となっています。面積は、約300坪程で中央に東屋も立てられていて和風の山水庭園の趣があります。メンバーの皆さんは、幼い頃からの仲間同士で作業も手馴れており、結束力も素晴らしいものを感じました。この神聖な「泉の里」の雰囲気是非皆さんにも味わって頂きたいと紹介させて頂きました。



おじゃま  
します

## 活動拝見

## 酒々井パソコンクラブ

9月25日、東酒々井のコミセンで開かれている酒々井パソコンクラブ交流会を見学させていただきました。酒々井パソコンクラブは、酒々井青樹堂カレッジコース10期生の3名の方たちが卒業課題として取組み、コース終了後も会員を増やしながら継続して活動されている団体。交流会の見学前は、一般のパソコン教室的なものを想像していましたが、実際に見学してみると、正に交流会の名前にふさわしく、講師役の人を中心に、会員の方たち全員が参加している雰囲気うかがえます。また、取り扱われるテーマについても、会員の方の希望を募って決められていました。

交流会にプラスして、フォロー講習としてパソコンに関する疑問点に個別に対応する等も行われており、これからパソコンに取り組もうという人も、もう少し高度に使いこなしたいという人も、レベルかわらず参加できるのではないかと感じました。現在の会員数は、30名を少し超える位とのことですが、この日の参加者は25名でした。会長さんにお話を伺ったところ、希望者があれば連絡をくださいとのことでした。因みに、交流会の中で、パソコンについての知識が豊かで講師役が可能な方の参加をという意見も出ていました。定例クラブ交流会は、原則として毎月第4日曜日13:30~、会場は、東酒々井コミセンで開催しています。連絡先:仙石浩次さん ☎496-6474



地域につながり共に輝く  
第4回  
輝く創年とコミュニティ・フォーラム

創年とは、自らをリセットして前向きに生きる中高年の生き方に対する呼び方で、地域のために貢献しようとする創年が酒々井に集まります。地域資源を活かした活動、みなさんの心身の健康を増進する方法なども考えてみましょう。積極的に活動する実践者やまちづくり指導者と交流しましょう。

日時 平成28年10月23日(日) 10:20～18:30  
会場 プリミエール酒々井、酒々井町中央公民館 入場無料

●プログラム

10:00～	受付 中央公民館
10:20～12:30	分科会トーク 「人と人をつなげる地域活動の実践」 テーマ 第1分科会「子どもと共に育つ地域の力」 第2分科会「人々がふれあう居場所づくり」 第3分科会「みんなの思いを集めてまちづくり～まちの活性化～」 第4分科会「地域資源を活かした魅力づくり」
12:30～	受付 プリミエール酒々井
13:20～14:00	オープニング 酒々井中学校校歌演奏、あいさつ、他
14:10～15:00	基調講演 ・皇徳大学名誉教授、酒々井まちづくり研究会 総務 徳 氏 ・保健 山本 孝 氏 ・保健 三ツ木 清隆 氏
15:10～18:40	シンポジウム 「地域と子ども・創年」(仮題) パネリスト 関 百合子 氏 (文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課本館教育支援室長) 長谷川 幸介 氏 (茨城大学教授) 高池 繁吉 氏 (公益社団法人スコーレ家庭教育推進協会会長) 小坂 泰久 氏 (酒々井町長) コーディネーター 渡辺 裕 氏 (さわやからば長良プラザ所長)
17:00～18:30	交際費 会場 中央公民館 交際費参加費2,000円(会場で受付)

主催/コミュニティ・フォーラム実行委員会、酒々井まちづくり研究会、酒々井町、酒々井町教育委員会  
共催/NPO法人生涯学習まちづくり協会  
後援/内閣府、文部科学省、千葉県、千葉県教育委員会、全国生涯学習研究所協議会、公益社団法人スコーレ教育推進協会

分科会トーク

「人と人をつなげる地域活動の実践」

わが町、酒々井町からの発表者は以下の通りです。

第1分科会：『しすい子ども家庭応援団ジーバーズ』

田草川 澄子氏

第2分科会：『駅文庫のある町』～駅から町を考える～

中尾 雄介氏

第3分科会：『ツア婚 IN SHISUI』

重定 賢治氏

第4分科会：『酒々井町でエコミュージアムを考える』

岡野 義広氏

それぞれの分科会で、3人の発表者が活動の事例発表をします。今回は栃木県、山形県、福島県、山梨県など、地方のまちづくり活動の事例を聞くことが出来るチャンスです。また、基調鼎談では、俳優の山本学氏俳優の三ツ木清隆氏をゲストに迎えて、酒々井まちづくり研究所の福留強氏の三人のトークも興味深い、一見の価値あり！皆様のお越しをお待ちしています。

第3回えきフェス

8月27日土曜日にJR酒々井改札口前の駅上通路で行われた『えきフェス』、ココナツアイランドしすいウクレレサークルの皆さんの演奏でハイムードいっぱいの一ひと時、女性、男性それぞれお揃いのアロハシャツ姿の19名によるカヤマナヒラ、ブルーハワイ、ピオンザリーフ等々、懐かしい曲の演奏、歌声にあわせて口ずさんでいる人達の姿もありました。

また、JR酒々井駅東口のしすい花植隊が整備する花壇の中にある梅の木の実を収穫し、手作りした梅ジュースがウエルカムドリンクとして提供され、多くの来場者に好評でした。手作り品ショップは、「刺し子の会」「あんでるです」「布あそび」の3組が出店し、素敵な作品を手に取り品定めをする人だかりが出来ていました。今回は、JRのご協力により通路の町側とJR側が使用出来、前回より広いスペースでの開催となり約200人の人出となりました。



ココナツアイランドしすいウクレレサークル



手作りショップもにぎやかに開催

熊本大震災募金ご報告：6月駅フェス 25,600円 / 8月駅フェス 5,350円 合計 30,350円

編集後記

NPOの活動も映画会、音楽会の開催に加えて、駅の交流スポットの運営など少しずつ活動の裾野も広がっています。また、10月は地域のイベントが数多く予定されています。是非参加頂いて、まちの良いところを再発見してみたいと思います。

【NPO法人 輝け酒々井まちづくり研究会】事務局までお問い合わせ下さい。問:080-2566-3233(山本)